

## 研修報告書

B-1 班（メンバーの頭文字の語呂合わせ）：SUNAOS（素直ず）

### テーマ

「大学の社会人・留学生の獲得のために ～おもてなしの心を発揮せよ～」

#### 1. テーマ選定理由

##### ① 大学の役割

文部科学省中央教育審議会部会、第3期教育振興基本計画の諮問事項の2030年以降の社会の変化を見据えた教育の在り方において述べられているように、これからの教育に求められるものは、主体的な判断力、多種多様な人々との協働、新たな価値を創造する力を身につけられる場の提供である。18歳人口が減少傾向に向かう中で、大学がその役割を果たすためには、教育を受ける人たちの幅を広げる（視野を広げる）必要があると考える。

##### ② 大学の現状

現在、大学の入学者の大半が、高等学校を卒業した18歳人口である。今後の社会変化に対応するために、大学は18歳人口以外の人たちに視野を広げ、社会人・留学生など多種多様な人たちをより積極的に受け入れていく必要があると考える。しかし現状では、18歳人口に対する取り組みが中心であり、社会人・留学生の獲得が少ない。

#### 2. 問題点の深堀（なぜ18歳人口ばかり？）

社会人・留学生を獲得できていない背景には、次の問題点があると考えた。

##### ➤ 大学側

- ・情報を提供しきれていない（大学ホームページでも社会人・留学生向けの情報が少ない）
- ・発信力が弱い（獲得する意識が希薄なため、大学側に発信していく姿勢がない）
- ・発信すべき情報が分からない（社会人・留学生がどんな情報を求めているのか分からない）

##### ➤ 社会人・留学生（18歳人口以外の人たち）

- ・時間的制約（社会人は仕事が終わってから学ぶことになる）
- ・言葉の壁（言葉がわからない留学生はあきらめてしまう）

#### 3. 解決策の検討

これらの問題点を解決するために、社会人・留学生への情報提供ツール「おもてなしシステム（OMTS）」を提案する。ここで「おもてなし」とは、社会人・留学生に向けて積極的に情報発信を行い、社会人・留学生にとって大学で学びやすい環境を築いていくことを表す。次に、OMTSが提供する機能を説明する。

##### i. 多言語対応

日本の優れた知識・技能の習得をしたいが日本語を修得していない留学生に対し、多言語に対応することで「言葉の壁」を解決する。

##### ii. 遠隔授業・動画配信

時間的、地理的な制約がある社会人、留学生に対し、遠隔授業により地理的な制約を解決し、また、授業の動画配信を任意の時間に閲覧可能にすることで時間的な制約を解決する。

iii. ディスカッション機能

課題や各種テーマに合わせて学生同士が WEB 上でディスカッションできる。様々な世代、国籍の人とのディスカッションにより、主体性、多様な人種と協働していく力を養うことが期待できる。

iv. アンケート機能

日常的・定期的なアンケートをもとに利用者から学習の需要を吸い上げ、学生主導のポータルサイト作りの一案として検討する材料にする。

v. 分析機能

教職員の機能である。各コンテンツにおける閲覧回数、視聴時間などをデータ化、数値化し、アンケート結果を含め PDCA サイクルを作り、システムを進化し続けるために利用する。



#### 4. まとめ

18歳人口が減少傾向に向かう中、大学は、教育を受ける人たちの幅を広げていく必要があると考える。しかし現状では、18歳人口への取組みしか出来ておらず、社会人・留学生を対象とした取組み（おもてなし）が足りていないことを我々は問題点として捉えた。この問題を解決するために、社会人・留学生への情報提供ツール「おもてなしシステム(OMTS)」を提案した。

おもてなしシステムを多種多様な人たちに知ってもらうために、大学や協働企業のホームページに情報掲載を行うことや、SNSなどを活用して情報発信する必要があると考える。また、OG・OBから会社の同僚に周知を願い、高校訪問の際に大学教員や職員が高校生や教職員に広めるといった、人との繋がりを活用して広めることもできると考えられる。また、高齢者など普段インターネットを利用することが少ないと思われる人たちに向けて地域新聞に情報を掲載する方法も提案として挙げられた。

おもてなしシステムの導入により、多種多様な人たちを受け入れ、主体的な判断力を持つ人材の育成ができる“環境”を整えることができるようになり、様々な年齢や国籍が集まることであらゆる思想、感覚を持つ人と触れ合い、講義だけでは得ることのできない知識や技術などを身につけることができるようになると考えられる。そのようなあらゆる人を受け入れられる環境を整えることで、大学の“おもてなしの心”が最大限に発揮されるのではないだろうか。

以上